

神戸大学医学部附属病院 薬剤部業績
2014 年度

I. 論文

1. 原著論文

英文

1. Yamamoto K, Mizumoto A, Nishimura K, Uda A, Mukai A, Yamashita K, Kume M, Makimoto H, Bito T, Nishigori C, Nakagawa T, Hirano T, Hirai M: Association of toxicity of sorafenib and sunitinib for human keratinocytes with inhibition of signal transduction and activator of transcription 3. *PLoS One*, 9(7):e102110 (2014)
2. Seki K, Tsuduki Y, Ioroi T, Yamane M, Yamauchi H, Shiraishi Y, Ogawa T, Nakata I, Nishiguchi K, Matsubayashi T, Takakubo Y, Yamamori M, Kuwahara A, Okamura N, Sakaeda T: Serum lactate dehydrogenase levels as a predictive marker of oxaliplatin-induced hypersensitivity reactions in Japanese patients with advanced colorectal cancer. *Int J Med Sci*, 11(6):641–645 (2014)
3. Kawauchi S, Nakamura T, Yasui H, Nishikawa C, Miki I, Inoue J, Horibe S, Hamaguchi T, Tanahashi T, Mizuno S: Intestinal and hepatic expression of cytochrome P450s and mdr1a in rats with indomethacin-induced small intestinal ulcers. *Int J Med Sci*, 11(12):1208-1217 (2014)
4. Minegaki T, Kuwahara A, Yamamori M, Nakamura T, Okuno T, Miki I, Omatsu H, Tamura T, Hirai M, Azuma T, Sakaeda T, Nishiguchi K: Genetic polymorphisms in SLC23A2 as predictive biomarkers of severe acute toxicities after treatment with a definitive 5-fluorouracil/cisplatin-based chemoradiotherapy in Japanese patients with esophageal squamous cell carcinoma. *Int J Med Sci*. 11(4):321-326 (2014)

II. 書籍

1. 著書（分担執筆）

邦文

1. 谷藤亜希子, 平野剛, 平井みどり: 一步進んだ業務のために 病院薬剤業務を支援する DI 業務 大規模病院の場合, 月刊薬事, 56(9), 1377-1381, (2014.8)
2. 谷藤亜希子, 監修: 後藤伸之: 適応拡大クローズアップ ラニビズマブ, 月刊薬事, 56(13), 2031-2033, (2014.11)
3. 竹中せり: 抗悪性腫瘍薬安全使用マニュアル, -抗悪性腫瘍薬の開発-, 医薬ジャーナル
4. 山下和彦: JAID/JSC 感染症治療ガイド 2014, 日本感染症学会・日本化学療法学会

III.学会発表

1. 国際学会

シンポジウム

1. Hiroaki Shichiri, Kazuhiro Yamamoto, Tsutomu Nakagawa, Takeshi Hirano, Midori Hirai: Apoptotic Effects of the Extracts of *Cordyceps militaris* via Erk Phosphorylation in a Renal Cell Carcinoma Cell Line: The 3rd International Symposium of Training Plan for Oncology Professionals, February 2015, Osaka

2. 国内学会

シンポジウム

1. 久米学: 医師主導治験における調整事務局の役割と課題: 医師主導治験の企画から承認申請まで~達成したチームから学ぶ成功体験~, 第35回日本臨床薬理学会学術総会, 2014年12月, 愛媛
2. 木村丈司: 多職種連携による介入と教育を中心とした Antimicrobial Stewardship Program の構築とその評価, 第30回日本環境感染学会総会・学術集会, 2015年2月, 神戸

一般演題

1. 平野剛, 平井みどり: 多職種協働 (IPW) チュートリアルにおける薬学部学生の参加とその成果, 第8回日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会大会, 2014年5月, 東京

2. 山下和彦, 山本和宏, 山口由加里, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : 血清アルブミン値の改善に伴って血中 Teicoplanin 濃度が上昇した小児の一症例, 第 31 回日本 TDM 学会・学術大会, 2014 年 5 月, 東京
3. 山本和宏, 大澤史宜, 宇田篤史, 山口徹郎, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : ナノピア[®]TDM エベロリムスの Dimension[®] Xpand[®] への導入, 第 31 回日本 TDM 学会・学術大会, 2014 年 5 月, 東京
4. 松本いずみ, 藤原由佳, 蓬莱節子, 久保百合奈, 五百蔵武士, 石橋有希, 福田敦子, 井口悦子 : がん患者の「患者力」を高めるサポートプログラムの有用性の検討, 第 19 回 日本緩和医療学会学術大会, 2014 年 6 月, 神戸
5. 西岡達也, 向井啓, 木村文司, 大路剛, 吉田弘之, 直本拓巳, 重村克巳, 岩田健太郎, 荒川創一 : 偽性腸閉塞症を伴う *Clostridium difficile* 感染症(CDI)の 1 例, 第 62 回日本化学療法学会総会, 2014 年 6 月, 福岡
6. 小寺史子, 山本亜季, 奥野護, 大本暢子, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : 皮膚 T 細胞性リンパ腫の患者へボリノスタットを使用した 1 症例, 医療薬学フォーラム 2014, 2014 年 6 月, 東京
7. 大田泉, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : ワルファリン服用中の患者におけるホスアプレピタント併用レジメン施行時の PT-INR の変動, 医療薬学フォーラム 2014, 2014 年 6 月, 東京
8. 藤原尚子, 十倉麻紀, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : 非心原性脳梗塞患者の発症前後の使用薬剤調査と血小板凝集能検査を用いた抗血小板薬の薬効モニタリングの有用性, 医療薬学フォーラム 2014, 2014 年 6 月, 東京
9. 北村直子, 生田智子, 曾我昭宏, 山口徹郎, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : 当院における TPN 施行患者の脂肪乳剤投与状況と栄養状態について, 医療薬学フォーラム 2014, 2014 年 6 月, 東京
10. 水田直美, 和田敦, 土井久容, 黒川敏子, 藤原由佳, 薬師神公和, 向原徹, 南博信 : 当院における『抗がん薬の安全な取り扱いと曝露対策に関するプロジェクト』の取り組み-散薬服用時の曝露状況について-, 第 12 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2014 年 7 月, 福岡
11. 山本育子, 三ヶ尻礼子, 戸田明代, 高橋路子, 宇佐美眞, 廣田勇士, 坂口一彦, 大江裕子, 谷藤亜希子, 高田綾子, 小野くみ子, 久永文, 納富明奈, 西海知子, 春藤欣也 : カーボカウントの意識調査と行動変容ステージに関連す

- る項目, 第2回日本糖尿病協会療養指導学術集会, 2014年7月, 京都
12. 谷藤亜希子, 野崎晃, 阪上倫行, 大澤史宜, 大本暢子, 西岡達也, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり: 病棟薬剤業務実施に伴うDI室への質疑内容の解析, 第17回日本医薬品情報学会総会・学術大会, 2014年7月, 鹿児島
 13. 水田直美, 和田敦, 土井久容, 黒川敏子, 藤原由佳, 薬師神公和, 向原徹, 南博信: 当院における『抗がん薬の安全な取り扱いと曝露対策に関するプロジェクト』の取り組み, 第52回日本癌治療学会学術集会, 2014年8月, 横浜
 14. 水本篤志, 山本和宏, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: ソラフェニブ長期曝露腎細胞癌モデルにおける分子プロファイリング解析, 第52回日本癌治療学会学術集会, 2014年8月, 横浜
 15. 山本和宏, 平田佐智, 山口徹郎, 須野学, 三宅秀明, 藤澤正人, 尾藤利憲, 錦織千佳子, 西岡達也, 榎本博雄, 久米学, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: STAT3 遺伝子多型と分子標的治療薬の皮膚障害発症頻度・重症度との関連性, 第24回日本医療薬学会年会, 2014年9月27日, 名古屋 ※優秀演題賞受賞
 16. 山岡慶子, 大本暢子, 山本和宏, 西岡達也, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり: 携帯型心電計を用いたQT延長を誘発する薬剤使用患者に対しての病棟薬剤師の取り組み, 第24回医療薬学会年会, 2014年9月, 名古屋
 17. 丹田雅明, 水田直美, 榎本博雄, 山口徹郎, 家田啓史, 西岡達也, 久米学, 平野剛, 平井みどり: 抗がん剤混合調製ロボットの臨床導入に向けた汚染度調査, 第24回日本医療薬学会年会, 2014年9月, 名古屋
 18. 山下和彦, 吉田幸洋, 山岡慶子, 池田佳那子, 西岡達也, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり: 1回量オーダ開始後の疑義照会内容分析と1回量入力制限の実施について, 第24回医療薬学会年会, 2014年9月, 名古屋
 19. 久保百合奈, 藤原由佳, 福田敦子, 酒見惇子, 蓬萊節子, 松本いずみ, 五百蔵武士, 井口悦子, 三木有希: 「患者力」を高めるサポートプログラムの有用性の検討 -SPにより患者が得た肯定的な影響からの考察-, 第27回日本サイコオンコロジー学会総会, 2014年10月, 東京
 20. 中川勉, 吉村友希, Qiang Ge, Robert pawlosky, R. Max Wynn, 山本和宏, 平野剛, Richard L. Veech, Kosaku Uyeda, 平井みどり: ChREBPと14-3-3の結合に影響を与える代謝物の同定, 第87回日本生化学会大会, 2014年10月, 京都
 21. 七里博章, 山本和宏, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: 腎癌細胞株に対するサ

- ナギタケ抽出物のアポトーシス作用—分子メカニズムの解明をめざして—,
第 64 回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2014 年 10 月, 京都
22. 水本篤志, 山本和宏, 高良恒史, 中山優子, 中川勉, 平野剛, 平井みどり:
腎細胞癌におけるアキシチニブとスニチニブの EMT に及ぼす効果の比較 —
戦略的な RCC 治療を目指して—, 第 64 回日本薬学会近畿支部総会・大会,
2014 年 10 月, 京都
 23. 渡邊愛未, 山本和宏, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: mTOR 阻害薬による細
胞内 ROS 産生非依存的 IL-6 分泌を介した口内炎発症機構, 第 64 回日本薬学
会近畿支部総会・大会, 2014 年 10 月, 京都
 24. 老川諒, 山本和宏, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: エベロリムスによる肺上
皮細胞の線維化亢進作用と STAT3 活性化, 第 64 回日本薬学会近畿支部総
会・大会, 2014 年 10 月, 京都
 25. 賀来健太, 山本和宏, 尾藤利憲, 錦織千佳子, 中川勉, 平野剛, 平井みどり:
ビタミン C 誘導体による STAT3 の活性化を介した分子標的薬の皮膚毒性軽
減効果, 第 64 回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2014 年 10 月, 京都
 26. 七里博章: 冬虫夏草代替生薬サナギタケによるアポトーシス作用は Erk 活性
化を介する, 第 2 回神緑会ヤングインベスティゲーターアワード, 2014 年
10 月, 神戸
 27. 渡邊愛未, 山本和宏, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: mTOR 阻害薬における
口内炎発症メカニズムの解明, 第 2 回神緑会ヤングインベスティゲーターア
ワード, 2014 年 10 月, 神戸
 28. 老川諒: エベロリムスによる TGF- β 1 非依存的な肺上皮細胞の線維化亢進へ
の STAT3 の関与, 第 2 回神緑会ヤングインベスティゲーターアワード, 2014
年 10 月, 神戸
 29. 七里博章, 山本和宏, 中川 勉, 平野 剛, 平井 みどり: 新規 mTORC1 結合
因子 P110 の栄養感知システムとしての生理機能解析, 第 37 回日本分子生物
学会年会, 2014 年 11 月, 横浜
 30. 渡邊愛未, 山本和宏, 谷口泰造, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: ヒト頬粘膜
上皮細胞の炎症モデルに対する β グルカン・アルギニン包接シコニンの効果,
第 37 回日本分子生物学会年会, 2014 年 11 月, 横浜
 31. 老川諒, 山本和宏, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: mTOR 阻害における TGF- β 1
非依存的な肺上皮細胞の線維化亢進への STAT3 の関与, 第 37 回日本分子生

- 物学会年会, 2014年11月, 横浜
32. 白岩恭一, 毛利健太郎, 笹田徹, 大塚郁夫, 大本暢子, 菱本明豊, 曾良一郎 : 神戸大学医学部附属病院における blonanserin の投与状況について, 第24回日本臨床精神神経薬理学会/第44回日本神経精神薬理学会, 2014年11月, 名古屋
 33. 浅野健人, 林宏至, 高橋睦, 稲野彰洋, 伊藤久裕, 矢野岬, 安藤幸子, 須崎友紀, 丸山秩弘, 久米学, 稲田実枝子, 上村尚人 : 医師主導臨床試験におけるモニタリング計画書テンプレート作成に関する取り組み, 第35回日本臨床薬理学会学術集会, 2014年12月, 愛媛
 34. 室井延之, 河本由紀子, 金啓二, 木村健, 平野剛, 小野達也, 平井みどり, 西田英之, 橋田亨 : 兵庫県下の病院における院内感染対策としてのワクチン接種に関する実態調査, 第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2015年1月, 和歌山
 35. 富田猛, 西岡達也, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : 心臓血管手術における術後心房細動予防目的での周術期 β 遮断薬継続について, 第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2014年1月, 和歌山
 36. 米田航佑, 大澤史宜, 山本和宏, 大本暢子, 西岡達也, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : シメプレビル併用によりタクロリムスの血中濃度維持に難渋した1症例, 第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2015年1月, 和歌山
 37. 堀田直孝, 藤原由佳, 福田敦子, 蓬萊節子, 久保百合奈, 松本いずみ, 三木有希, 五百蔵武士, 加藤めぐみ, 牧山智貴, 酒見惇子, 井口悦子 : サポートプログラムの提供・運営法の評価 : 『振り返り』の内容より, 第29回日本がん看護学会学術集会, 2015年2月, 横浜
 38. 西岡達也, 木村丈司, 八幡真理子, 李宗子, 中村竜也, 吉田弘之, 荒川創一 : 滅菌精製水の使用状況と細菌学的評価, 第30回日本環境感染学会総会, 2015年2月, 神戸
 39. 久米学, 山崎純子, 石田裕紀, 五百蔵武士, 飯島一誠, 平井みどり, 平田健一 : 医師主導治験における適合性書面調査への対応, 第6回日本臨床試験学会学術総会, 2015年2月, 東京
 40. 山本和宏, 五百蔵武士, 四宮一昭, 河本紫帆, 須野学, 平田佐智, 中川勉, 平野剛, 原田健一, 三宅秀明, 藤澤正人, 平井みどり : 分子標的治療薬によ

- る副作用における STAT3 遺伝子多型の関連性, 第 1 回日本ゲノム薬理学会
学術集会, 2015 年 2 月, 神戸
41. 山本亜季, 平野剛, 浜口常男, 岩川精吾, 北河修治, 平井みどり: 心臓血管
外科における術前栄養状態の調査, 第 4 回日本薬剤師レジデントフォーラム,
2015 年 2 月, 東京
 42. 高橋路子, 山本将士, 山本育子, 永濱郁代, 生田智子, 三好真琴, 濱田康弘,
宇佐美真: NEST 介入し、ステロイド補充にて全身状態が著名に改善した相
対的副腎不全の一例, 第 30 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2015 年 2 月,
神戸
 43. 水田直美, 和田敦, 土井久容, 黒川敏子, 藤原由佳, 薬師神公和, 向原徹,
南博信: 『抗がん薬の安全な取り扱いと曝露対策に関するプロジェクト』の
取り組みー散剤調剤時の曝露状況についてー, 日本臨床腫瘍薬学会学術大会
2015, 2015 年 3 月, 京都
 44. 明珍かおり, 水田直美, 丸上奈穂, 大瀧由希絵, 山崎直樹, 青木紫織, 中野
究務, 西岡達也, 久米学, 槇本博雄, 平野剛, 平井みどり: 当院通院治療室
における血管障害の発現状況とその対策に関する調査, 日本臨床腫瘍薬学会
学術大会 2015, 2015 年 3 月, 京都
 45. 吉田都, 宇田篤史, 内田享弘, 原口珠実, 樫川舞, 山本和宏, 平野剛, 平井
みどり: 味覚センサを用いたゾピクロンおよびエスゾピクロンの苦味評価,
日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
 46. 栗村朋子, 西岡達也, 久米学, 槇本博雄, 平野剛, 平井みどり, 橋本正良:
総合内科外来における薬剤師外来の実施と評価, 日本薬学会第 135 年会, 2015
年 3 月, 神戸
 47. 生田智子, 丹田雅明, 曾我昭宏, 山岡慶子, 青木紫織, 田淵聡子, 高橋路子,
西岡達也, 槇本博雄, 久米学, 平野剛, 川本晋一郎, 薬師神公和, 宇佐美真,
平井みどり: 造血幹細胞移植患者に対する栄養管理への介入とその評価, 日
本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
 48. 槇本博雄, 丹田雅明, 水田直美, 田中健太, 丸上奈穂, 家田啓史, 西岡達也,
久米学, 平野剛, 平井みどり: 抗がん剤混合調製ロボットの後発医薬品への
適合性評価と視覚的な汚染度評価, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神
戸
 49. 山下和彦, 池田佳那子, 北村直子, 澤田有記美, 奥野護, 西岡達也, 久米学,

- 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : 薬剤師法改正に伴う外来服薬指導の充実化について, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
50. 澤田有記美, 山下和彦, 栗原晶子, 西岡達也, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : 全自動錠剤ハーフカッターカセットの導入効果に関する検討, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
51. 小倉史愛, 木村丈司, 宇田篤史, 大本暢子, 西岡達也, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : STOPP を用いた薬剤師によるポリファーマシーに対する介入, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
52. 山本和宏, 老川諒, 中川勉, 西岡達也, 榎本博雄, 久米学, 三宅秀明, 藤澤正人, 平野剛, 平井みどり : mTOR 阻害薬による肺線維症の長期曝露モデルを用いた基礎的検討とゲノム薬理学的解析, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
53. 河本紫帆, 山本和宏, 平田佐智, 三宅秀明, 藤澤正人, 田村麻衣, 小山敏広, 四宮一昭, 中川勉, 平野剛, 平井みどり : 腎細胞癌における分子標的薬の治療効果と STAT3 遺伝子多型との関連性, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
54. 中山優子, 山本和宏, 峯垣哲也, 木下淳, 高良恒史 : アキシチニブで長期曝露したヒト腎臓癌由来 Caki-2 の細胞特性, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
55. 水本篤志, 山本和宏, 高良恒史, 中山優子, 中川勉, 平野剛, 平井みどり : 腎細胞癌におけるスニチニブ不応性および耐性メカニズムの探索, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
56. 渡邊愛未, 山本和宏, 中川勉, 平野剛, 平井みどり : ヒト頬粘膜細胞を用いたエベロリムス長期曝露と未曝露細胞の薬剤反応性の相違, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
57. 宮庄章嘉, 山本和宏, 尾藤利憲, 錦織千佳子, 中川勉, 平野剛, 平井みどり : 分子標的治療薬の皮膚障害に及ぼす物理的刺激の影響, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
58. 吉村友希, 中川勉, 崎山晴彦, 山本和宏, 江口裕伸, 藤原範子, 平野剛, 鈴木敬一郎, 平井みどり : ChREBP- β の活性化機構の解明, 日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月, 神戸
59. 久土智也, 山本和宏, 中川勉, 尾藤利憲, 錦織千佳子, 濱口常男, 平野剛,

- 平井みどり：エルロチニブによる痤瘡様皮疹モデルの確立と分子機構の解明，日本薬学会第 135 年会，2015 年 3 月，神戸
60. 土倉麻弥，山本和宏，中川勉，尾藤利憲，錦織千佳子，濱口常男，平野剛，平井みどり：ソラフェニブによる皮膚障害に対する PGE 1 を用いた治療への応用，日本薬学会第 135 年会，2015 年 3 月，神戸

研究会等

1. 山本和宏：新たな薬剤師業務を切り開くゲノム薬理学の実践，日本ゲノム薬理学会第 1 回総会・学術講演会，2014 年 4 月，神戸
2. 山本和宏：医療現場における TDM 業務の実践と今後の展望，積水メディカル株式会社合同研修会，2014 年 5 月，大阪
3. 四宮一昭，山本和宏，合葉哲也，宇田篤史，須野学，小山敏広，座間味義人，平野剛，波多野力，平井みどり：岡山大学薬学部・神戸大学病院薬剤部の教育・研究連携事業における取り組みと成果，第 131 回日本薬学会中国四国支部例会，2014 年 6 月，岡山
4. 久米学：「IRB」，日本臨床試験学会教育セミナー「GCP Basic training セミナー（大阪地区）」，2014 年 6 月，大阪
5. 西岡達也：実践！消毒薬の適正使用－薬剤師の視点から－，HICC 第 11 回感染管理教育セミナー，2014 年 6 月，神戸
6. 木村文司：アウトブレイクを未然に防ぐための抗菌薬適正使用に関する取り組み，平成 26 年度国公立大学附属病院感染対策協議会教育作業部会ブロック別研修会(関西地区)，2014 年 6 月，大阪
7. 平野剛：臨床薬理学，平成 26 年度看護認定看護師教育課程・慢性心不全看護コース（兵庫県看護協会），2014 年 7-8 月，神戸
8. 平野剛：臨床薬理学，平成 26 年度看護認定看護師教育課程・認知症看護コース（兵庫県看護協会），2014 年 7-8 月，神戸
9. 平野剛：臨床薬理学，平成 26 年度看護認定看護師教育課程・訪問看護コース（兵庫県看護協会），2014 年 7-8 月，神戸
10. 山本和宏：mTOR 阻害薬による口内炎発症機構の分子生物学的解明と副作用バイオマーカーの探索，CPCF 2014，2014 年 8 月，名古屋
11. 谷藤亜希子：病院 DI 室による病棟薬剤業務の支援と教育，関西注射薬実践懇話会 第 23 回学術集会・特別講演，2014 年 8 月，大阪

12. 西岡達也：消毒薬の適正使用ー最近の話題も含めてー，ICT オープンカンファレンス（神戸市立医療センター西市民病院），2014 年 10 月，神戸
13. 久米学：「IRB」，日本臨床試験学会教育セミナー「GCP Basic training セミナー（大阪地区）」，2014 年 11 月，大阪
14. 中村任，久米学，平井みどり，三木生也，津田政広，安井裕之：シスプラチン投与患者における血清中バイオメタル濃度の変動解析，ナノ DDS およびメタロミクスの合同成果発表会（京都薬科大学），2014 年 11 月，京都
15. 丹田雅明：病棟薬剤師による薬剤の投与管理と患者の体調把握の実際，第 8 回造血幹細胞移植チーム医療ミーティング，2014 年 11 月，神戸
16. 西岡達也：抗菌薬および消毒薬の使用と管理，平成 26 年度院内感染対策講習会（厚生労働省委託事業），2014 年 12 月，神戸
17. 山本和宏：口内炎モデルに対するシコニンの効果，第 3 回シコニン研究会，2014 年 12 月，神戸
18. 木村文司：薬剤師によるポリファーマシーに対する介入，エグゼクティブセミナー，2015 年 1 月，神戸
19. 谷藤亜希子：神戸大病院における DI 業務と病棟業務，日本医薬品情報学会平成 26 年度第 3 回 JASDI フォーラム「病棟薬剤業務における DI の在り方を考える」，2015 年 2 月，東京
20. 山本和宏：分子標的治療薬による副作用バイオマーカーの確立，メディカルジャパン 2015 大阪，2015 年 2 月，大阪

IV.研究補助金

1. 平野剛：母体と胎児間の栄養輸送における mTOR シグナルの新たな役割，平成 25-27 年度科学研究助成事業（基盤研究 C） 1,300,000 円（平成 26 年度分）
2. 中川勉：n-3 系脂肪酸が ChREBP の分解を促進する分子メカニズムの解明，平成 26-27 年度科学研究助成事業（若手研究 B） 2,100,000 円（平成 26 年度分）
3. 山本和宏：分子標的治療薬による皮膚障害発症メカニズムに基づく新規予防・治療法の探索，平成 26-27 年度科学研究費助成事業（若手研究 B） 2,100,000 円（平成 26 年度分）

4. 山本和宏：分子標的治療薬における間質性肺炎の新規バイオマーカーの統合的探索，武田科学振興財団 2014 年度薬学系研究奨励 2,000,000 円
5. 五百蔵武士：タブレット端末を活用した臨床研究の概要説明と同意説明補助ツールの開発，平成 26 年度科学研究助成事業（奨励研究） 500,000 円
6. 木村文司：腎機能低下を有する患者に対する薬剤投与量の適正化，平成 26 年度科学研究費助成事業(奨励研究) 300,000 円
7. 七里博章：栄養感知システムを担う新規 mTOR 結合因子 ZNF512B の癌細胞における機能解析，平成 26 年度がん研究助成（近畿がん診療推進ネットワーク） 300,000 円